

No.1 平成30年度公式メッセージ



平成30年度入学式

平成30年4月5日(木)

学院長式辞の要旨

学院長 木村智彦

1. 冒頭の言葉

桜の花は日本と言う国の代名詞ともいべき花ですが、学院神社、中央館、東館、校庭、全ての門塀が一新された神社神道の学校である本校にも30本の桜の大木が植わっています。これら桜の樹と天輝く、このような快晴の中で、希望に萌える君たち、素晴らしい若者を迎えて、入学式を挙行できることは、大変嬉しく頼もしく思います。浪速新時代の幕開けとして2回目の入学生である皆さんを心から「歓迎」致します。浪速高等学校678名、浪速中学校102名の皆さんの新たな出発に際し一言お祝いの言葉を申し述べます。(来賓紹介)

2. まず保護者へのお慶びの言葉

- 保護者の皆様、さぞお慶びのことと推察申し上げます。大切なお子さまを本学院にお預け頂き有り難く御礼申し上げます。多くある私立、公立の中・高の中で本校をご選択頂きました。私どもは皆さまの大切なお子様を今日以降、本校で学ぶ生徒として「責任」を持ってお預かり致すことをまずもってこの学校の責任者として表明致します。どうかご安心ください。

- ・ 学校と保護者にとって大切なことはあくまで生徒を中心にすえ、保護者と教職員がスクラムを組んで連携して子供を教え、育むという視点であり、これがPTA組織の原点です。つまり学校運営には信頼し合えるT・教師とP・保護者の連携が最も重要だと考えます。本校は私立学校であり「私立」というのは「建学の精神」を大切にしながら、特色を持ち、学校と保護者が「共に学校を進化させて創造していくもの」だと思っています。ここが根本的に公立学校との違いです。
- ・ 学校は保護者には全てを伝えていきたいと考えています。保護者も学校からの情報を知る努力が必要です。そうすればトラブルがあっても教師と保護者との素早いコミュニケーションで事態がこじれる前に解決が可能です。ポイントはスピードだと思います。本校は「生徒の面倒を徹底的に見る」を私ども、教職員の合言葉としており、今後とも信頼される浪速教育を目指して頑張っていますのでどうかご理解とご協力をお願い致します。
- ・ まず本校では教員による体罰はいかなる理由があろうとも、厳しい処分を前提とした厳罰事項としています。又生徒間のいじめ問題にも敏感に反応し対応しています。情報管理も徹底して参ります。学院長として事あることに教員や生徒にもこれらの事を「浪速教育の三法」として指導しており体罰といじめのない学校づくりを目指して今後とも頑張っています。

3. 生徒諸君へ

「入学おめでとう」「大歓迎します」「浪速を選択してくれて有り難う！」

・ 入学生の皆さんへ

- まずどのような学校であるか「学校の沿革」から説明をしなければならない。しっかりと聞いて欲しいと思います。本校は「神社神道の精神を建学のバックボーン」に持つ学校ですが別に神職養成の学校ではありません。殆ど全ての生徒が全国の大学に進学する進学校と言えます。ただ学校行事等には日本文化の原点ともいえるべき「神社神道の精神」が色濃く反映されています。即ち建学の精神です。皆さんは今朝ほど、本校雅楽部と神楽部の生徒が奏で、舞う中で学院神社の神様に今後の学校生活の平穏を祈願しました。神前奉告の儀式と言います。今後皆さんはこのような場面に徐々に触れて行くことになります。
- ・ 学校の沿革は、大正12年、5月1日に、丁度今から95年前に旧制浪速中学校として創立をされました大阪を代表する伝統校であり、有名人も多く輩出しています。今日の皆さんは創立95周年の節目の時に入学してくれました。校訓は「浄明正直（じょうみょうせいちよく）」であり、神社神道の教えをそのまま頂き、“清く明るく正しく素直に”を建学の精神としています。
- ・ 学校にこれほどの神社がご鎮座されているのは本校だけです。先ほど神前奉告と言って昨年新しくご造営された学院神社大神様の前で皆さんの6年間、3年間の無事と学業の成就を祈願いたしました。学院神社には伊勢神宮の皇祖神の天照大御神を始め大阪府全神社に祀られている神々、皆さんの近所の神社の神様など「八百万の神々」がご祭神として祀られています。学問の神様である『菅原道真公・・・天神様』もそのお一人です。人間は畏敬するものを持つことで謙虚になり、心優しい豊かな心が育まれるものです。
- ・ 校章は大正12年5月24日制定されたもので、八咫鏡を形どった「八葉」と言われるものであり、制服のエンブレムは「三種の神器」で天皇家の皇位継承の象徴を形どったものです。八咫鏡、弥栄の勾玉、天叢雲剣群雲です。本校の生徒であることに誇りを持って欲しいと思います。素晴らしい学校に入学した自覚が大切です。

- ・ 今から大切な事を言います。それは浪速中学の生徒はこれから6年間本校で学び、大学に進学します。君たちはこれからは内部生と言われ、先生方の眼が注がれます。高校生となった皆さんに申し上げます。今日からは専願入学も併願入学も関係ありません。君たちは浪速高校、浪速中学へ入学するのが運命だったと考えるのです。貴方方は只今から浪高生・浪中生になりました。きっと良い学校に入ったと思うでしょう。学校はそう思って貰えるように最大限の努力を致します。

4. 本校の精神である神道が教えるところとは：

分かり易く言えば神道の教えとは難しいものではありません。日本文化の理解そのものです。神を敬い祖先の心を受け継ぐ、敢て言えば仏教と違って死後の天国地獄を考える前に、あくまで「命ある今に集中して一生懸命に生きる」ことだと私は理解しています。後先の事などではなくて、今この時にベストを尽くして悔いのないように一生懸命に生きることが一番大切なことだと教えています。そして「報恩感謝」と言って今ある自分は多くの人々のお蔭であるという感謝の気持ちを持つことで有ります。感謝の気持ちが有る故に謙虚になり、「今このときを大切にする」のです。「今を一生懸命に生きる」と言っても良いでしょう。「今このとき」「今を生きる」の言葉が浪速教育の精神です。思わぬ不幸や出来事、悲しい出来事も他人の責任にしても解決には至りません。与えた試験と考え、耐えて頑張れば道は開ける。耐えて頑張れば必ず事態は好転するということを信じて頑張るって欲しいと思います。

5. 浪速生としての心構えについて

- ・ 本校は常に生徒の事を第一に考え、中学も高校も授業日数を大幅に増やし、さらに特別講習や補習補講、外部模試を徹底的に取り入れ、生徒の学力向上を図る高校です。まず「行ける大学から行きたい大学」に行くことを希望する生徒を徹底的に支援します。そのためのあらゆる手立てを学校は考えています。

従って「学校の授業が極めて大切」です。まず「授業」を大切にします。一こま一こまの授業が重要で、「習熟度別授業」を主体にしています。質の高い授業に真剣に取り組むことで多くのことを得ることが出来ます。従って遅刻をしたり授業を妨害するなどの行為は厳しいペナルティが待っています。特に高校は義務教育の中学と違ってスピードも速く、又単位を取らねば進級も卒業も出来ません。特に本年度の大学入試は東京大学への現役合格、京大、阪大、北海道大学その他多くの国公立大学、東京六大学や関西の関関同立と言われている有名大学へ多くの生徒が合格しています。今年で言えば124の大学に1142人が合格しています。塾や予備校に行かなくても学校内の指導で十分可能なのです。

- ・ 本校は全般に「生活指導」には厳しい学校として聞こえています。特に「いじめ」「ネット問題」「喫煙や飲酒」「化粧や服装」「通学途中の公共マナー」は厳しい指導があります。それも学校の教育だと思っているからです。日本全国どこの高校でも喫煙が許されている学校はありません。特にネットトラブルは一生の問題となりかねません。日常の生活規範が乱れていると学業成績にも影響があることを学校の教師は知っています。安易に流れてはいけません。「駄目なものは駄目」なのです。「踏みとどまる勇気」が必要です。特に高校生は「浪高生20の約束」を守らねばなりません。それが君たちの為なのです。しっかりと浪高の卒業証書を手にして羽ばたいて行って欲しい。

6. 学びの意味

- ・ 「何のために勉強するのか」答えは簡単です。「親から自立して生きる力を身に付けるため」です。

中学校、高等学校を通してそのための基礎基本を学ぶということ」です。その結果「正しく考える力、正しい判断力を身につける」ということです。一言で言えば「たくましく、しなやかに生き抜いていく力」を身につけ「頼もしい人間になる」ということだと言っても良いと思います。「生き抜く力はまず基礎基本の教科書にある」と私は信じて疑いません。中学も高校も単なる通過点であり、人間は生涯学習が必要です。

- ・ どの教科も多くのことを教えてくれます。皆さんの知識はまだまだとても少ない。大人になって無知とか無教養とか言われることは悲しいことです。中でも君たちが生きていく21世紀は英語が益々重要となってきます。日本語に続く国家の第2言語となってくるでしょう。本校は英語教育を重要視して時間数も多くあります。英語検定の受験も義務化しています。又海外修学旅行はニューヨーク、ドイツ、ウィーン、プラハ、イタリアはローマ、海外での語学研修や英語だけで過ごす夏休みの英語強化学習もあります。
- ・ 結局「学ぶ」ということは知らないこと、体験していないことを身に付け、考える、判断する力を付ける事です。「学びの意味」は「自分の現状を変え自分の将来の環境を整えることに繋がる」ことになるからです。「自分の将来を自ら作る」ことが学びの目的だと言っても良いでしょう。自分にとって最適な理想の環境を得るためにまず「志」を持ち皆「心を鍛え、体を鍛え、頭を鍛える」。そのために学校はあるということです。学校は「学びの場であり、訓練の場であり、単なる遊びや居場所ではない」ということを忘れてはいけません。君たちは正直言って「伸びきっていない」と思います。それだけにまだまだ「伸びる可能性が高い」と言うことです。努力しだいで中学・高校時代には大きくぐっと成長します。皆さんの可能性は特に大きくどうか自信を持って「努力」をして欲しいと思います。努力をした分だけ我が身に返ってくるということです。

7. 付属施設と部活動の奨励

中央館6階にはホテルのレストランみたいな空間が君たちを待っています。焼き立てパンコーナーもあります。8階の図書館からは大阪中が360度のパノラマで見られます。本校は食を大切にしています。又本校は「文武両道」を目指し、「部活動を奨励」し学校として積極的な財政支援も行っています。どうか積極的に部活動に取り組んでください。部活動は大変重要です。私は勉強も部活動の一つと考えています。勉強クラブです。要はバランスの取れた人材が結局社会に出て伸びている。バランスというのは「しなやかで幅の広い人間」だということです。脆くてはいけません。「頼もしい」ということが大切です。

- ・ 本校は金剛山の麓、南河内郡千早赤阪村の旧多聞小学校を購入し大改装して校外宿泊学宿施設である「多聞尚学館」を有しています。ここでの特別学習は厳しいものですが昨年1年で中高併せて延べ4500以上の生徒が夜遅くまで徹底的に学習をしています。昨年12月には全面的にリニューアルしました。素晴らしい施設で仲間と同じ食事をしながら切磋琢磨して勉強してください。塾や予備校に行かなくとも大学に進学できます。最も良い方法は学校の先生が面倒を見ることです。早速今週末から君たち、新入生も多聞に行って貰います。
- ・ 堺市の南区に大きな「校外グラウンド」をこの3月には「浪速ふくろうベースボールスタジアム」を名を改め、野球専用球場としました。又堺市美原区には広大な敷地を入手し、「美原スポーツキャンパス」と称しテニスコート5面、サッカーとラグビー、アメリカンフットボール、陸上競技のトラックを現在設計中です。又ここ住吉区の本校地には「浪速武道館」があり、空手道場、弓道、

剣道、柔道場、それに雅楽部や茶道部のために40畳もの和室が完成しています。生徒の為のクラブハウス棟も新設しました。

- ・最後に校長からのお願いとして又雅楽部、神楽部、について説明します。本年からこの二つのクラブは特別強化支援クラブとして年間部員一人当たり2万円の強化費を個人宛てに支給します。大阪府神社庁からの活動支援金です。これらのクラブは学校行事と密接に関係しており、又府内の神社に委嘱されて演奏したり舞ったりします。どうか雅楽部と神楽部に入部してください。又茶道部や華道部ではお道具一式を個人にプレゼントしています。

8. 新しい教育の方法

- ・そして1昨年完成した新校舎は最新鋭のICT教育が完備されています。特に中学校は全教室がICT化された教室であり、スララと言う新しいE-ラーニングが可能な教室を完備しました。32年度から進展する新学習指導要領を受けて英語などのICT学習場所などあらゆるところに最新鋭の教育装置が完備しています。中学校には「イングリッシュ・コミュニケーション・ラボ」という英語の特訓教室もこの3月に完成しています。
- ・特に高校生の皆さんは皆さんの時から新しい大学入試になります。即ち現高校1年生から新テストが供されます。特に英語では従来の読む、書くに加えて喋る、聞くの英語4技能、そして国語など記述式の問題なども課せられます。とにかく新学習指導要領は様変わりと言って良いくらい中身が変わる故に学校の教育も大きく変えて行かねばなりません。とにかく学力をしっかりと付けねばなりません。
- ・新学習指導要領は「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」を標榜しています。これを受け学校は中央館8階の全ての部分を「自学自習の場」として開放しフリーネット空間、ICT、E-ラーニング装置、又オンライン英会話教室も整備しました。特に本校では「Classi」という学習支援システムを導入しました。これは20000本以上の学習動画パックが利用でき、難関大学の入試対策や自分のレベルに合わせて学校パソコン、自宅パソコン、スマートフォン、タブレットなどを利用でき多くの有力な私立学校で今導入が進められています。又2名のネイティブの英語講師も揃えました。今後は日本語を使えない英語の授業も始まります。

9. 纏め

再度申し上げます。今日以降、高校では専願入学も併願入学、内部生も関係ありません。すべては浪速高校の仲間であり、浪速中学校の仲間です。本校は外部の方々から「挨拶の出来る生徒たち」として大変有名です。挨拶が出来ると言うことは人間が優しい事だと思っています。早く友人を作って皆「仲良く、明るく、元気一杯」に浪速高等学校、中学校生活を楽しんで欲しいと思います。校長以下182名の教職員は皆さんを心から歓迎申し上げ、少し長くなりましたが式辞と致します。